

覚 書

山崎和義(以下「甲」という。)及び株式会社ピカいち(以下「乙」という。)は、各自が所有する後記記載の土地(以下「本件土地」という。)及び建物(以下「本件建物」という。)について、下記の条件の下、甲乙及び本件土地の使用人並びに本件建物の入居者の通路(以下「本件通路」という。)として利用することに合意したので、その証として本覚書を締結し、甲乙記名押印の上、各自1通を保有する。

第1条 甲及び乙は、甲乙に加えて本件土地の使用人及び本件建物の入居者並びに本件土地及び建物の維持管理に関わる関係者及び車両が本件通路を無償にて通行することを承諾する。

第2条 甲及び乙は、本件通路の維持管理に関し、互いに協力し行うものとする。

第3条 甲及び乙は、本件土地の利用者及び本件建物の入居者に対し、本件合意内容を周知させるものとする。

第4条 本件土地に既設の上下水道管及びガス管(以下「水道管等」という。)の修繕工事を行う場合は、工事内容、期間等を事前に通知し、本件土地の使用人及び本件建物の入居者への影響について、協議の上、実施しなければならないものとする。

第5条 前条の工事に当たり、本件土地を掘削することを甲及び乙は、承諾するものとする。

2 前項の工事に当たり、本件通路を原状に復するに要する費用は、原因者が負担する。

3 掘削により本件土地の利用者及び本件建物の入居者の通行に支障を来すことにより、本件土地の利用者及び本件建物の入居者が他の場所に駐車場等を借りる等の費用は、原因者が負担する。

第6条 本件建物の外壁補修等の足場設置や高所作業車等を使用する工事については、第4条に準じて行うものとする。

第7条 本覚書の有効期間は、乙所有の建物の存する期間(建物が通常の用に供することが出来る期間とし、行政庁の許可を要する改修等は認めず、本覚書の適用もしない。)とし、期間終了をもって本覚書の効力は、失効するものとする。

第8条 前条の期間終了について、乙は甲に事前に通知しなければならない。

第9条 甲及び乙が本件土地及び本件建物を第三者に譲渡した場合は、互いに通知するものとし、当該第三者に対して本覚書の内容を承継させるものとする。

2 前項の承継に当たっては、当該第三者と再度、本覚書と同条件の覚書を交わすものとする。

第10条 本覚書の利用条件に反した場合は、本覚書の効力は失効するものとし、本件通路の使用は一切禁止とし、甲及び乙はそれを承諾する。

第11条 本覚書に記載のない事項については、甲乙協議の上、決するものとする。

【後記記載土地並びに建物(公簿)】

〔甲所有の土地並びに建物〕

土地 千葉県八千代市大和田新田字向山 476 番 12

千葉県八千代市大和田新田字向山 476 番 13

建物 千葉県八千代市大和田新田字向山 476 番地 19 家屋番号 476 番 19

千葉県八千代市大和田新田字向山 476 番地 8 家屋番号 476 番 8

〔乙所有の土地並びに建物〕

土地 千葉県八千代市大和田新田字向山 476 番 14

建物 千葉県八千代市大和田新田字向山 476 番地 10 家屋番号 476 番 10

以上。

西暦 2022 年 11 月 29 日

(甲) 住 所 千葉県八千代市緑が丘 2 丁目 28 番地 3

氏 名

山崎 和義



(乙) 住 所

氏 名

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮10095-2-1
株式会社ピカいち
代表取締役 柳田 将 頼
TEL 0475 (47) 3991
FAX 0475 (47) 3990

